

学校評価アンケート(児童)

学校での生活等について児童に第2回のアンケートを実施しました。アンケートの結果報告と考察をします。

今回は、低学年(1・2・3年)と高学年(4・5・6年)の二つに分けて集計してみました。右下のグラフのようにどちらもほぼ同じような傾向でした。

教職員のアンケートの中で、児童に関する項目を1から11まで右に挙げました。中でも「進んであいさつしているか」については、「当てはまらない」と答えた職員が多く、本校での今後の課題としてとらえている職員が多いです。児童ができていくかについて評価することが大切だという意見がほとんどでした。

質問の一覧



1	すすんで勉強している。
2	家で宿題以外の勉強をよくしている。
3	先生や友だちの話を聞いている。
4	自分の考えをしっかりと話している。
5	自分からあいさつしている。
6	自分やみんなのものを大切にしている。
7	友だちにやさしくし、なかよく遊んでいる。
8	やくそくやルールを守っている。
9	自分で考えて、自分から行動している。
10	早ね・早起きをし、朝ごはんをきちんと食べている。
11	安全に気をつけ、行動できている。
12	学校に安心してかよえている。
13	先生はみんなが楽しいと思えるいじめのないクラスを作ろうとしている。
14	じゆぎょうは、分かりやすい。
15	身のまわりをきちんとかたづけている。
16	こまったときは、たんになの先生にそうだんできる。
17	地いきやPTAの行事に進んでさんかしている。

子どもを共に育む京都市民憲章

わたしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。



平成19年2月 5日(育児ニコニコ笑顔の日)制定
3月13日 京都市会が憲章推進を決議

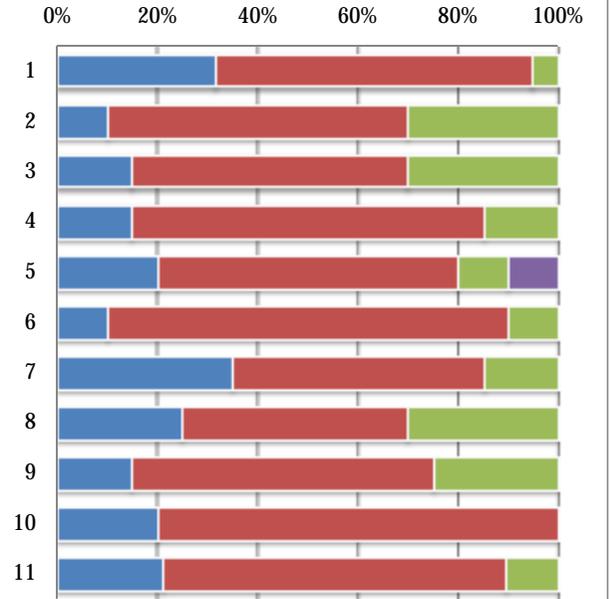
「進んで学習に取り組んでいる」は、7月に実施したアンケートの結果とほぼ変わらず、約83%の児童が「あてはまる」と回答しています。「宿題以外の学習に取り組んでいる」は、7月のアンケートのときは29%の児童が「あてはまらない」と答えていたのですが、今回は25%の回答にとどまりました。また、「あてはまる」と答えた児童は約50%あり、前回より7%増えています。全校でわずかな伸びですが、「パワーアップノート」に自主的に取り組む児童が増えたことを示しています。これからも自主的に学習できる力を伸ばせるように取り組んでいきます。

「自分やみんなのものを大切にしている」は、80%の児童が、「あてはまる」と答えていますが、20%の児童がそうではないと答えており、前回よりものを大切にしていないという回答がわずかに増えているのが気になる所です。冬になり上着や手袋の落し物が増え、名前のないものが職員室の廊下で引き取り手を待っている状態が続いているので、各家庭に記名の呼びかけをしていきたいと考えています。ものを大切にすることを育てることは、人や友だちをも大切にすることを促します。

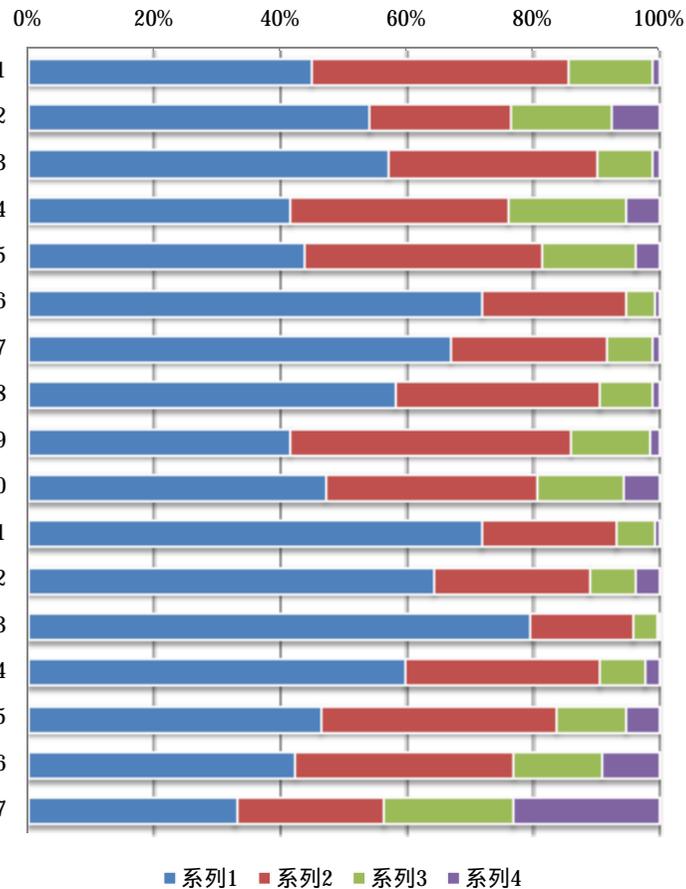
「担任の先生はいじめのない学級を作ろうとしている」は、前回に続いて、95%を超える児童が「あてはまる」と答えており、学級で一人一人を大切にすることが児童にも理解でき、信頼も得ていることが分かります。安心して通えるクラスづくり、学校づくりを続けていきたいです。

「授業が分かりやすい」との回答も前回と同じく90%以上の児童が「あてはまる」と答えており、来年度も「どの子どもも分かる授業づくり～授業のユニバーサルデザイン化～」について研究を深め、取り組んでいきます。

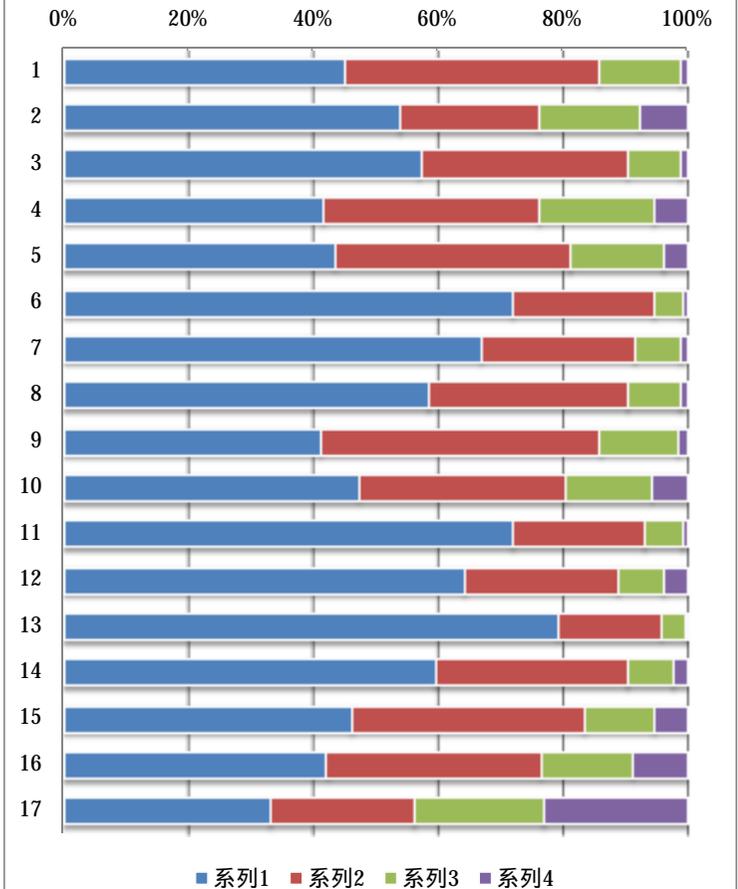
教職員(1~11)



低学年



高学年



<左から> 1 よくあてはまる 2 少しあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 まったくあてはまらない